

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022年 6月 24日

尼崎市長 殿

提出者

住所 尼崎市東向島西之町1番地
 氏名 日本製鉄株式会社 関西製鉄所 尼崎地区
 副所長 木谷 茂
 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 電話番号 06-6411-7724



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本製鉄株式会社 関西製鉄所 尼崎地区
事業場の所在地	尼崎市東向島西之町1番地
計画期間	2022年4月1日から2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2234 鋼管製造業
②事業の規模	製造品出荷額 41,050百万円 (2021年度実績)
③従業員数	712人 (2022年6月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り (図1～図7)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙の通り (図8～図9)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 3 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 1. 排水処理システム改善による廃酸スラッジ抑制及び、社内活用検討 2. シンナー・アセトン等の有価物化 3. 水・油・潤滑油等の過剰使用防止 4. 通い箱の使用並びに過剰包装防止呼びかけ 5. 蛍光灯・水銀灯リサイクル処理委託 6. 紙・ダンボールリサイクル	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 廃酸スラッジ資源化による社内活用検討 2. 分別徹底による金属リサイクル量増加推進 3. 圧延油の有価物化検討	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 種類 (区分け) : 燃えるごみ・空き缶・ガラス屑・スプレー缶・土砂・鉄屑・廃プラスチック・廃蛍光灯・廃水銀灯・乾電池 2. 定期的に製造所内全域のごみステーション分別確認パトロールを実施、パトロール結果を公表し指導・是正を展開している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1. 新たな分別対象なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 1. ステアリン酸の再利用 2. 紙・ダンボールのリサイクル	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 廃酸スラッジ資源化による社内活用検討	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) 1. 廃酸処理場での適正処理継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) —	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) —	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 1. 産業廃棄物処理施設視察（実地確認）による処分業者並びに収集運搬業者の適正処理確認 2. 産業廃棄物処理業許可証及び、収集運搬業許可証期限切れの有無確認 3. 電子マニフェスト発行管理システム導入 (H26年9月より導入率100%で運用中)	

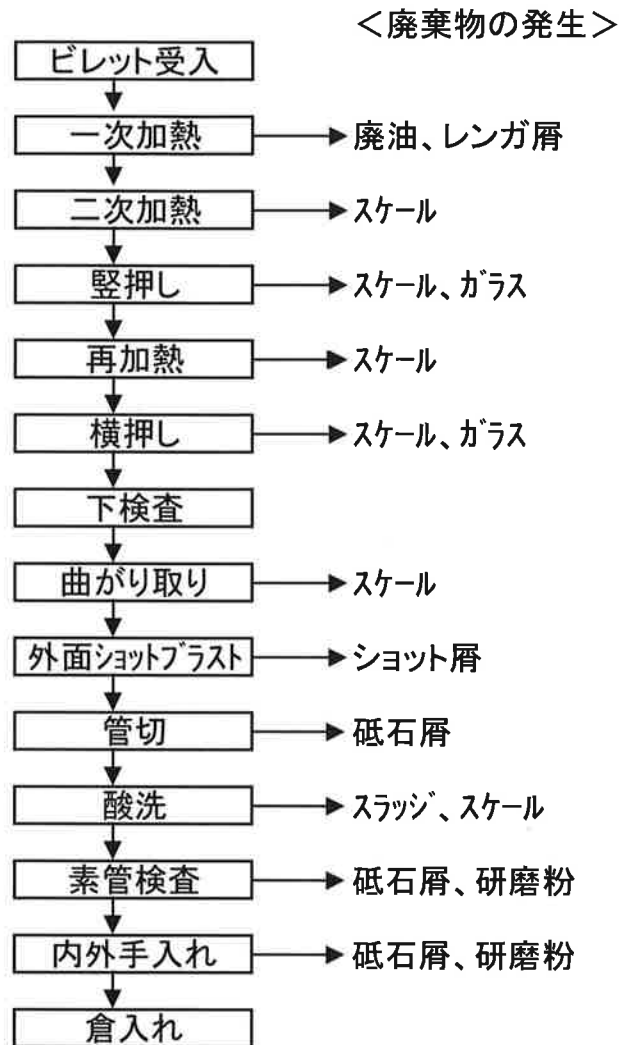
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 1. 産業廃棄物処分業者及び収集運搬業者の現地確認継続 2. 産業廃棄物処理業許可証及び、収集運搬業許可証期限切れの有無確認継続 3. 電子マニフェスト発行管理システム導入運用によるコンプライアンス強化(適正処理の確認及び、許可証期限切れ確認強化体制構築) 4. 工事元請会社の電子マニフェスト発行率向上推進	
※事務処理欄		

(第6面)

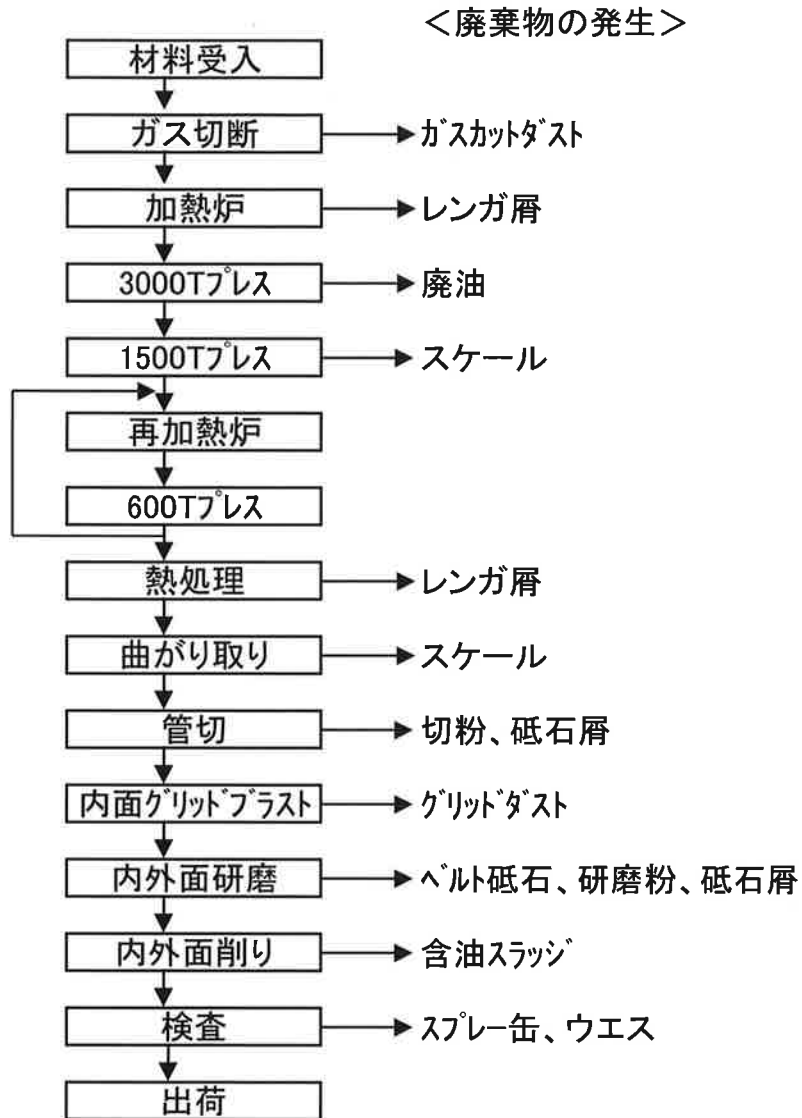
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

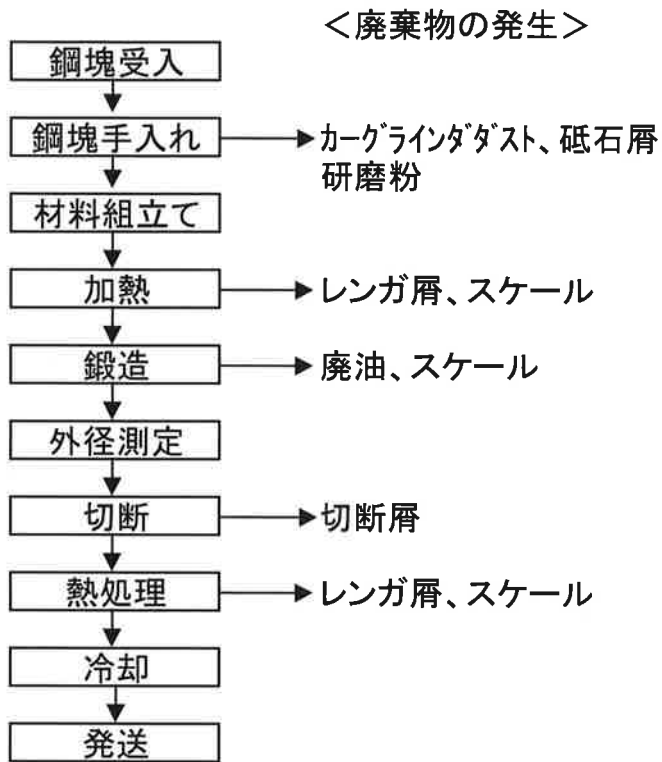
尼崎熱間製管工場(熱押課) 製造工程フロー図(図1)



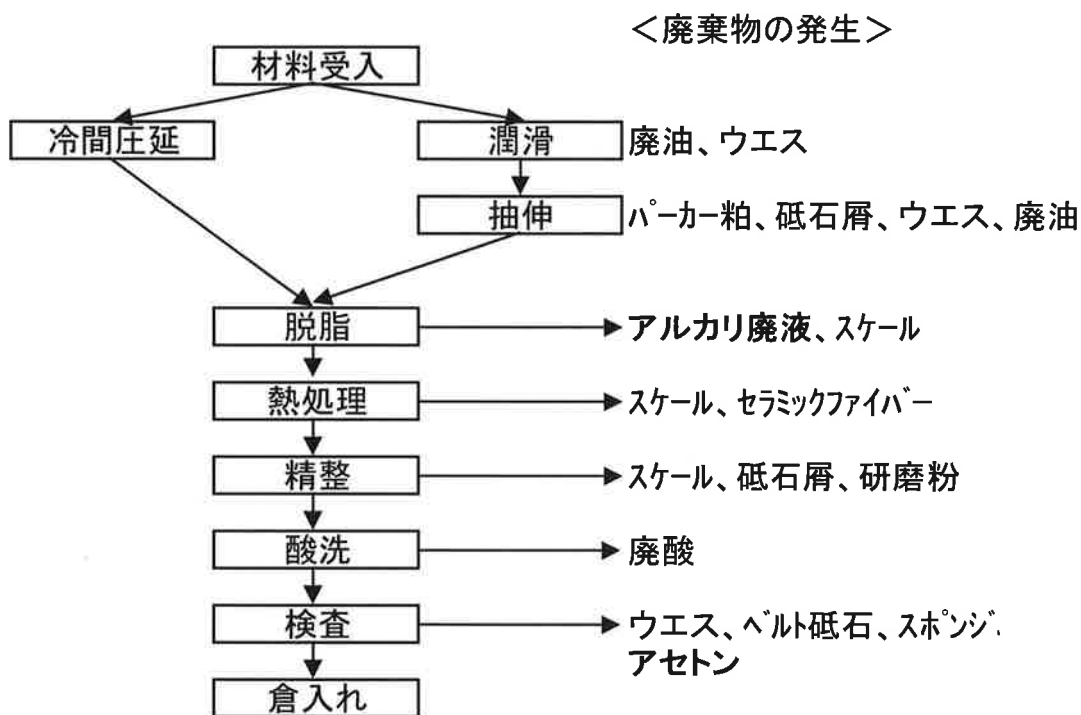
尼崎熱間製管工場(鍛造管課) 製造工程フロー図(図2)



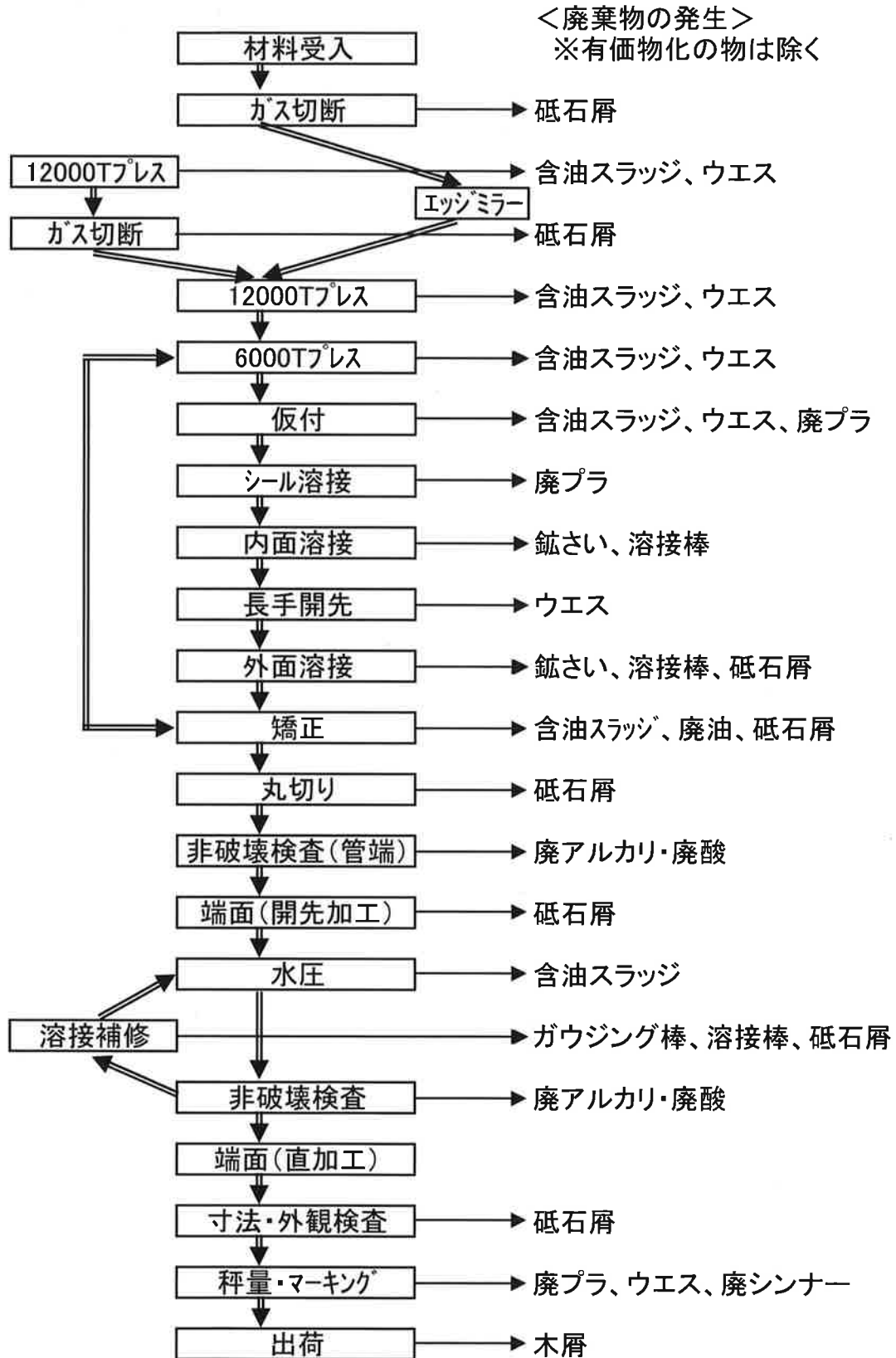
尼崎熱間製管工場(鍛造管課 高速鍛造機)
製造工程フロー図(図3)

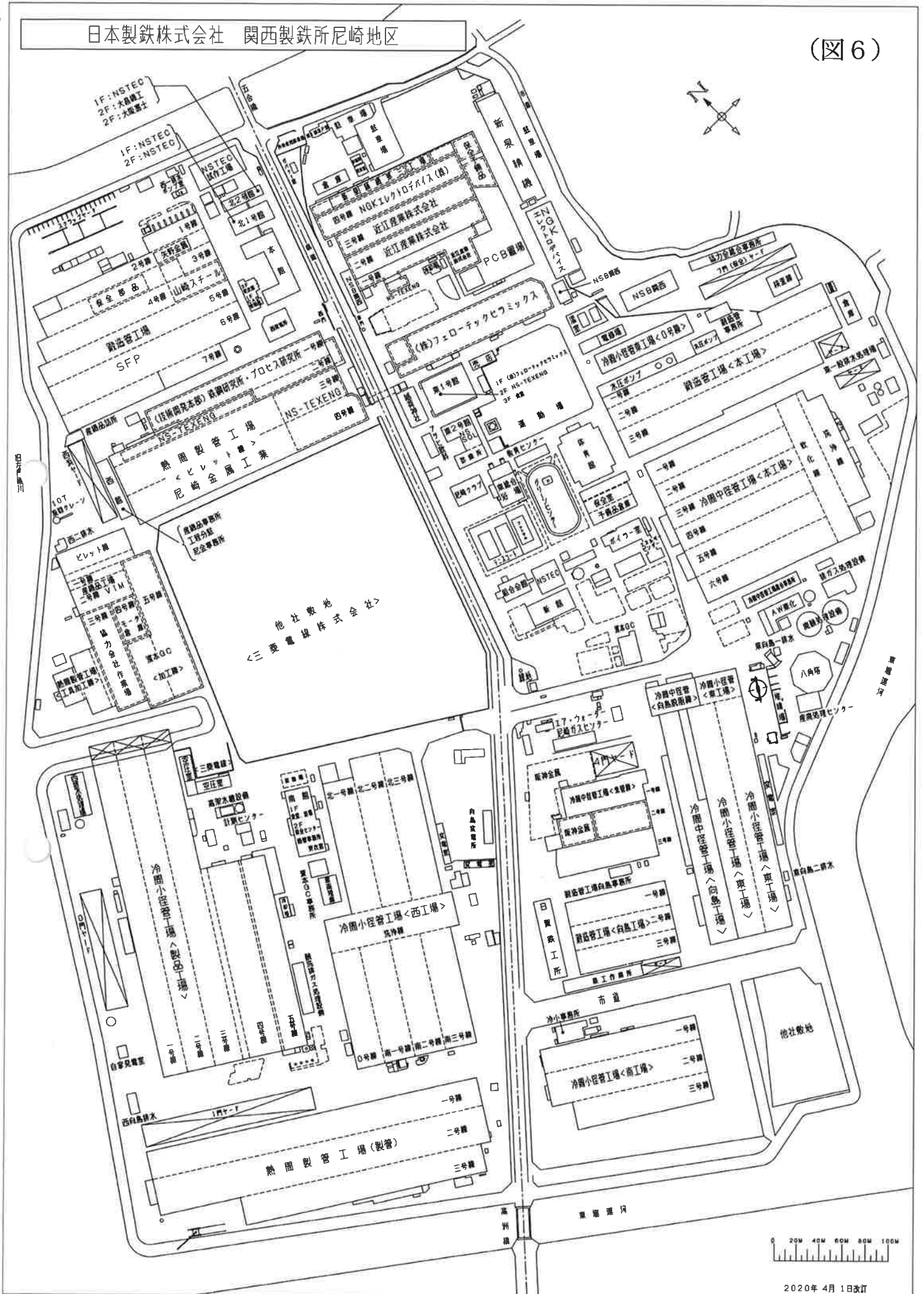


尼崎冷間中径管工場及び 尼崎冷間小径管工場 製造工程フロー図(図4)



尼崎プレスバント鋼管工場 製造工程フロー図(図5)





廃棄物処理工程図(図7)

発生源	種類	廃棄物	委託処理	委託処分
フィルタープレス	汚泥	廃酸スラッジ	—	埋立処分
各室工場	汚泥	廃乾電池	焼却	—
各工場	ガラス、陶磁器屑	レンガ屑	—(有価物化)	
尼崎熱間製管工場(熱押課)	ガラス、陶磁器屑	ガラス屑	—	埋立処分
各工場	ガラス、陶磁器屑	砥石屑、スレート	—	埋立処分
各室工場	ガラス、陶磁器屑	蛍光灯、水銀灯	破碎—分別リサイクル	—
各工場	鋳さい	廃サンド	—	埋立処分
各室工場	がれき類	がれき類	—	埋立処分
尼崎冷間小径管工場	廃油	圧延油、含油汚泥	焼却	—
診療所	廃アルカリ	現像液	焼却	—
各室工場	廃プラ	廃プラスチック類	破碎—焼却	—
各工場	木屑	解体木屑	破碎—熱回収	—
尼崎冷間中径管工場	【特管】廃アルカリ	廃ホメザリン(アルカリ)	焼却	—
尼崎冷間小径管工場	【特管】廃アルカリ	廃ホメザリン(アルカリ)	焼却	—
尼崎冷間小径管工場	【特管】廃油	廃アセトン	—(有価物化)	—
尼崎整備室	【特管】廃酸	バッテリー	—(有価物化)	—
各室工場	【特管】廃酸	弗硝酸	中和	—
各室工場	【特管】廃油(有害)	ジクロロエタン	焼却	—
各室工場	【特管】汚泥(有害)	金属水銀	中和	—
各室工場	【特管】高濃度PCB廃棄物	コンデンサー	化学処理	—
各室工場	【特管】微量PCB廃棄物	絶縁油	焼却	—
各室工場	【特管】微量PCB廃棄物	汚染物	焼却	—

< 図8 日本製鉄株式会社 全社組織図 >

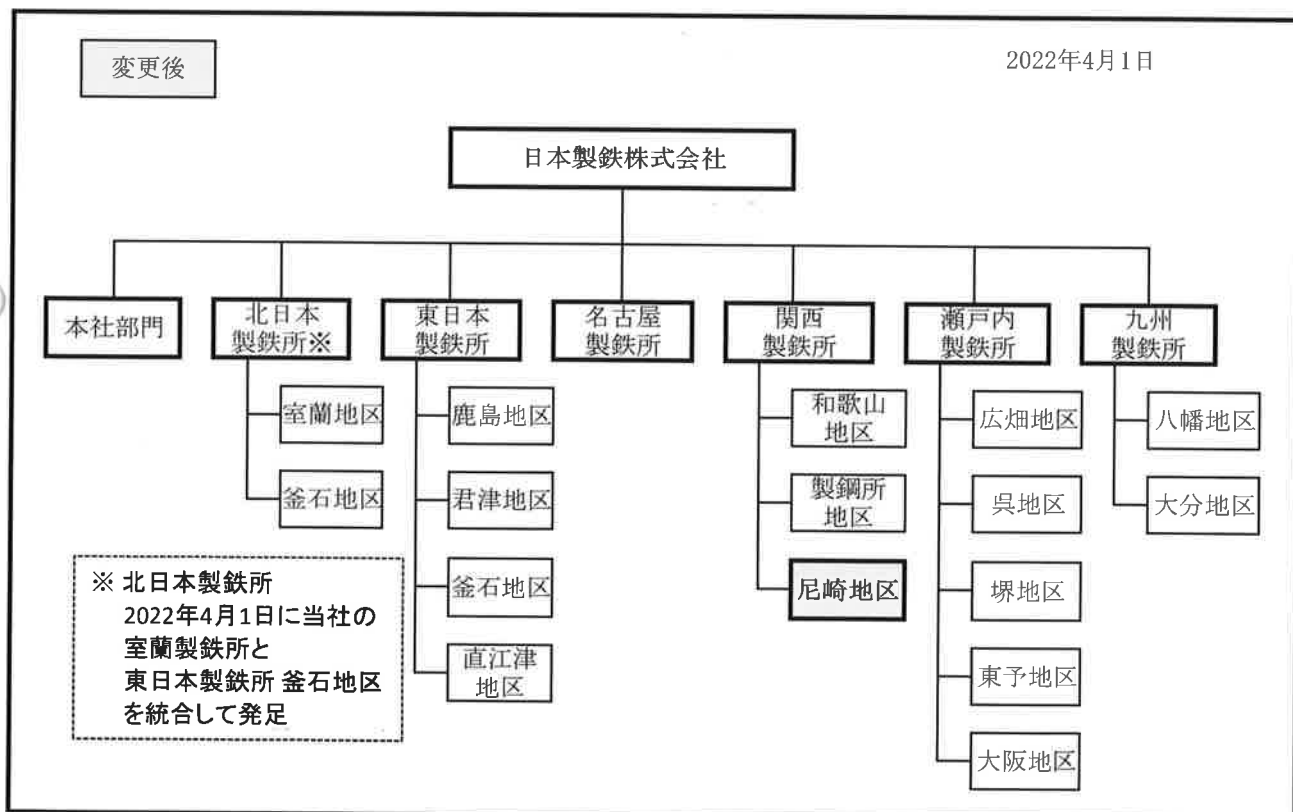
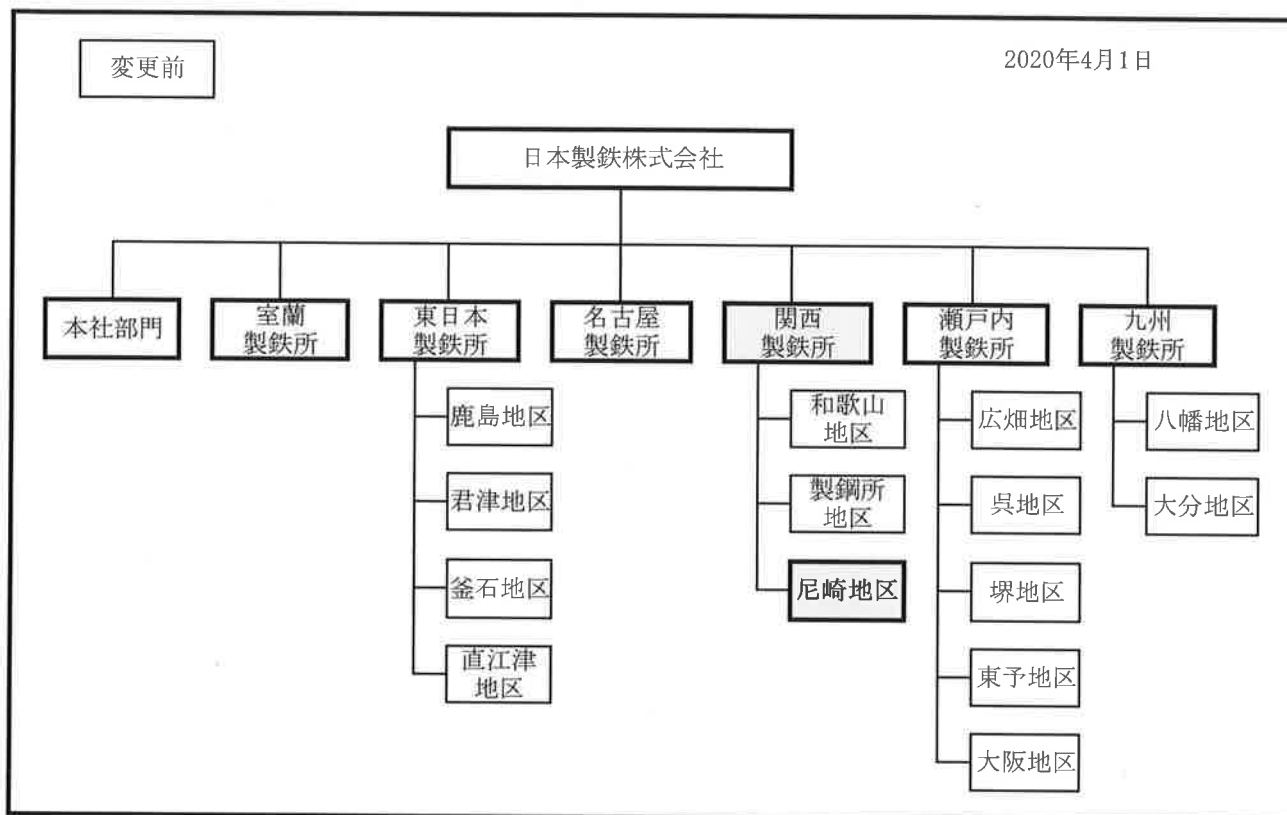
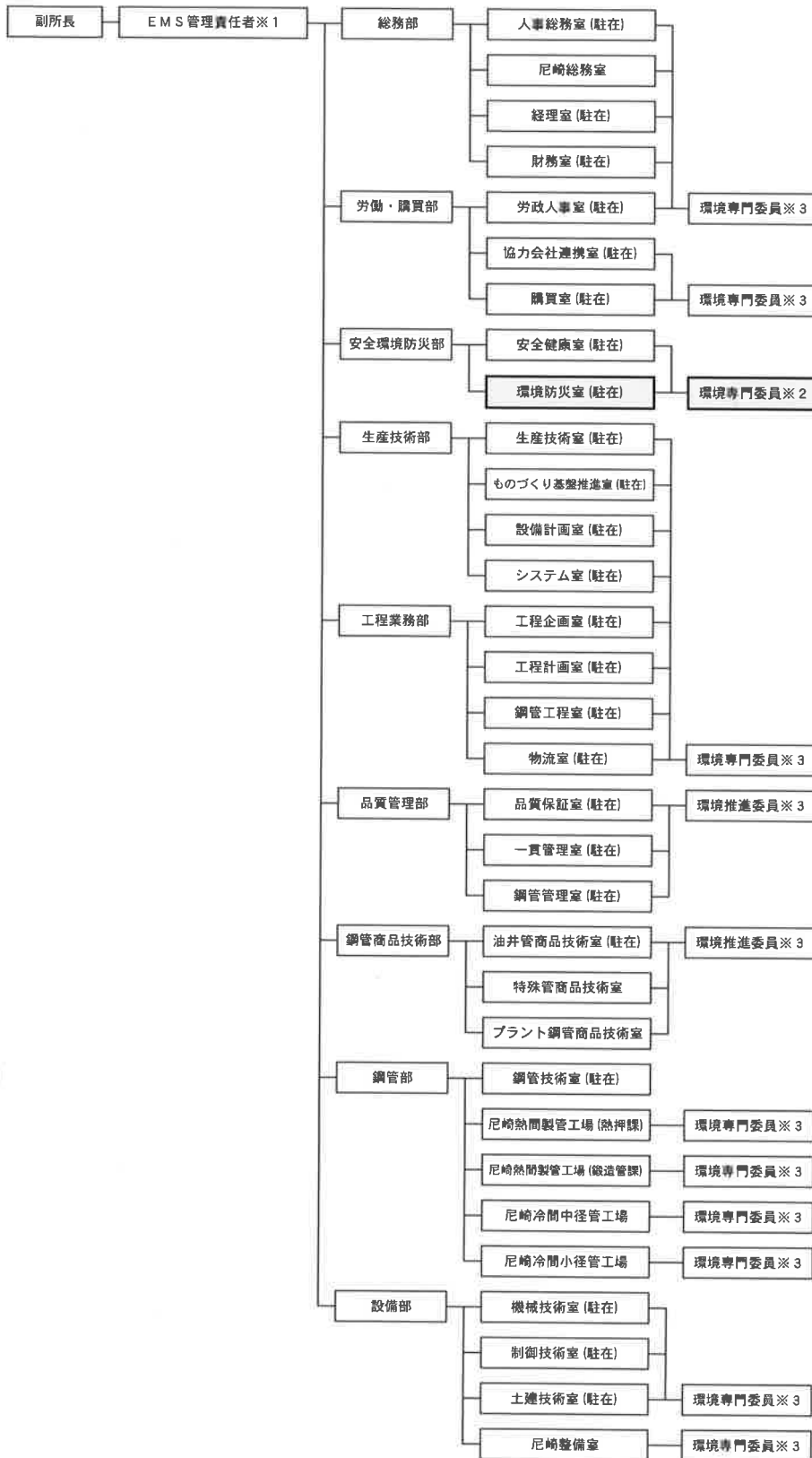


図9 日本製鉄株式会社 関西製鉄所 尼崎地区 組織図

(注)関係外の組織は省略



『産業廃棄物の処理に係る管理体制』

※1. 安全環境防災部

(1) 上席主幹(環境防災室地区統括)：環境マネジメント管理責任者

※2. 環境防災室

- (1) 環境防災室主査：廃棄物処理責任者(本社報告枠括)
- (2) 環境防災室主査：廃棄物処理担当者(廃棄物管理・行政報告・処理契約・排出管理等)
- (3) 環境防災室主査：特別管理産業廃棄物管理責任者

※3. 環境専門委員

(1) 各所属：1名選出(廃棄物管理・分別廃棄確認パトロール/環境保全活動・環境管理月度報告)

『2021年度実績と2022年度目標』

1. 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

排出量(t)	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック	0800 木屑	1300 ガラス陶磁器屑	1400 鉄さい	2200 管理型混合廃棄物	2300 水酸化物系廃液(ED27/F)	2400 水酸化物系廃液(非ED27/F)	合計(t)
現状 前年度(2021年度)実績	28503	375	0.250	0.359	323	33	1537	58	29	0.25	0.66	30860
計画 今年度(2022年度)目標	25653	338	0.250	0.359	291	30	1383	52	26	0.23	0.59	27774

2. 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

自ら再生利用を行った量(t)	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック	0800 木屑	1300 ガラス陶磁器屑	1400 鉄さい	2200 管理型混合廃棄物	2300 水酸化物系廃液(ED27/F)	2400 水酸化物系廃液(非ED27/F)	合計(t)
現状 前年度(2021年度)実績	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0
計画 今年度(2022年度)目標	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0

3. 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら熱回収を行った量(t)	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック	0800 木屑	1300 ガラス陶磁器屑	1400 鉄さい	2200 管理型混合廃棄物	2300 水酸化物系廃液(ED27/F)	2400 水酸化物系廃液(非ED27/F)	合計(t)
現状 前年度(2021年度)実績	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0
計画 今年度(2022年度)目標	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0
自ら中間処理により減量した量(t)	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック	0800 木屑	1300 ガラス陶磁器屑	1400 鉄さい	2200 管理型混合廃棄物	2300 水酸化物系廃液(ED27/F)	2400 水酸化物系廃液(非ED27/F)	合計(t)
現状 前年度(2021年度)実績	25850	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	25850
計画 今年度(2022年度)目標	23265	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	23265

4. 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック	0800 木屑	1300 ガラス陶磁器屑	1400 鉄さい	2200 管理型混合廃棄物	2300 水酸化物系廃液(ED27/F)	2400 水酸化物系廃液(非ED27/F)	合計(t)
現状 前年度(2021年度)実績	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0
計画 今年度(2022年度)目標	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0

5. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

全処理委託量	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック	0800 木屑	1300 ガラス陶磁器屑	1400 鉄さい	2200 管理型混合廃棄物	2300 水酸化物系廃液(ED27/F)	2400 水酸化物系廃液(非ED27/F)	合計(t)
現状 前年度(2021年度)実績	2653	375	0.250	0.359	323	33	1537	58	29	0.25	0.66	5010
優良認定処理事業者への処理委託量	2653	375	0.250	0.359	323	33	1537	58	29	0.25	0.66	5010
再生利用業者への処理委託量	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.25	0.66	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0.000	0.000	0	33	0	0	0	0.00	0.00	33
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	375	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.00	0.00	375

計画 今年度(2022年度)目標	2388	338	0.225	0.323	291	30	1383	52	26	0.23	0.59	4509
優良認定処理事業者への処理委託量	2388	338	0.225	0.323	291	30	1383	52	26	0.23	0.59	4509
再生利用業者への処理委託量	0	0	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0.23	0.59	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0.000	0.000	0	30	0	0	0	0.00	0.00	30
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	338	0.225	0.323	0	0	0	0	0	0.00	0.00	338